

第 21 回（令和 5 年度）新潟市議会議会報告会 開催結果

1. 開催結果

開催日時 令和 6 年 2 月 4 日（日）午前 10 時 30 分～11 時 50 分

会 場 市役所本館 5 階全員協議会室

参加者数 81 名（会場：79 名 オンライン：2 名）

出席議員 22 名

2. 開催内容

（1）概要

第 1 部 議会報告（午前 10 時 30 分～同 50 分）

：にいがた市議会だより第 104 号（2 月 4 日発行）に沿って説明。12 月定例会での各常任委員会の論議のポイントおよび決算特別委員会の要旨などを報告。

第 2 部 意見を聴く会（午前 10 時 50 分～11 時 50 分）

：「防災と災害対応」をテーマに、能登半島地震に対する新潟市と議会の対応について報告し、質疑・意見聴取。

その後、自由なテーマで質疑・意見聴取。

（2）主な意見・質問・要望および答弁

○：参加者の発言要旨

→：議員の答弁要旨

◆防災と災害対応について

（能登半島地震での新潟市と市議会の対応について報告）

○液状化対策の地盤改良には多額の費用が掛かることから、国や県の補助金を活用し、被災者の負担を減らして欲しい。

→地盤改良の件は、一定の対策はあり得るが、地域全体の合意やそれぞれの負担など、さまざまな課題があり、本市も国に対して何らかの対策と支援を求めているところである。

○避難所のカギをもっと多くの人に預けては。また、市の避難マニュアルが全く使えず見直すべきだ。

→カギの件は、東日本大震災時、中央区議員団で確認し、可能な地元の消防団が対応できることになった（修正・別紙参照）。周知されていない部分もあり、担

当課に話す。

○避難所の運営と最悪時を想定した対応の強化と市民との協働について市は指針を示して欲しい。

→避難所ごとに持たれる避難所運営会議で、地域の実情や状況に合わせ運営ルールを決めて欲しい。また今回の混乱について課題などを把握し、整理が必要と認識している。

○原発事故時の避難については、多くの矛盾を感じる。計画を見直すべきでは。

→新潟市としても県に避難のあり方や対応について申し入れを行っている。

○被災者の立場に寄り添った「り災証明書」の早期発行と、手続きを簡略するにワンストップ化が必要。また支援が足りないのでは。

→被災相談窓口を各区に設置した。新潟市としても国制度に加え、独自財源で基金なども取崩しながら支援している。

○液状化対策に関連し、液状化を誘発する地下水を下水道事業で取り除くことを検討すべきでは。

→先行する柏崎市の事例が参考になる。市、国、県で対策を進めていく。

◆自由意見交換

○空き家問題について。家屋取り壊し後の固定資産税に問題がある。また、補助金を活用し空き家をなくすことが、地域の発展につながるのでは。

→国の制度なので、ご意見として預かる。

○地震復旧のさなか、議員が九州に出掛けているがいかがなものか。

→同じラムサール条約都市に認定された出水市等を視察した。視察は有意義で、胸を張って内容は公開する。また、交流、経済を止めてはならない。

○スケートボードを規制するだけでなく、新潟駅南口の駐輪場の一部を活用し、代替えを作るべきだ。

→新潟駅南口の広場については、スケートボードと散歩や休憩など両方が成り立つような良い方法を考えさせていただきたい。

○ガザ地区における早期の平和実現を求める決議について、国際問題、外交は国家の専任事項であり、新潟市という1地方自治体が旗幟^{きし}を鮮明にすることによってどのような意味があり、どのくらいの予算が発生するのか。
→究極の人権侵害で、戦争被害が拡大しないよう声をあげさせていただいた。予算は特にかかっている。

○令和元年から令和3年までの3年間の集中改革で376事業を見直し、58億円の改革効果を生み出したとしているが、改革の詳細が納税者たる市民へ十分に説明されていない。また、事務事業評価を再度行うべきでは。
→市のホームページでは財政見通しは公表している。さらに人口減少が進むことから、不断の見直しが必要と考えている。

○新潟市を良くするためには、中央区内を循環し、駅南北を縦貫するバス路線が必要だ。議会の対応に期待している。
→先行事例などを見ながら適切な公共交通体系を、新潟市に定着させていきたい。

○新潟に魅力がないとどんどん人口が減っていくことを、市議会の方に認識していただきたい。
→新潟は魅力がたくさんある。市民の皆さんにこのことを伝えられるよう、そして皆さんに応援をしていただけるように、議会もしっかりとさまざまなことを議論して行きたい。